

HETEROSIDES

(ヘテロサイド)

初期～中期の炎症、反復性の炎症を抑え、炎症後の肌ダメージも未然に防ぐ

【特長】 国連フェアトレード認証の水溶性高度精製ツボクサ成分
炎症の初期から中期&反復性炎症を全て抑制
医薬品レベルの高い抗炎症効果により皮膚の紅斑を完全に消失

【コンセプト】

ヘテロサイド(Heterosides of Centella Asiatica)とは、日本ではツボクサと呼ばれるセリ科の植物の葉から得られた精製エキスです。

ツボクサは、西洋ではセンテラアジアチカ(一般名: Centella Asiatica / マダガスカル名:

Talepetraka)として知られ、マダガスカルに代表される亜熱帯地域に広く生息する野生の多年草です。野生のトラが傷ついた時にツボクサに体をこすり付けて治したという伝説もあり、別名タイガーズハーブとも呼ばれております。また、動物にとどまらず、ツボクサには優れた創傷治癒効果があり、古来より民間療法の薬として珍重されてきました。



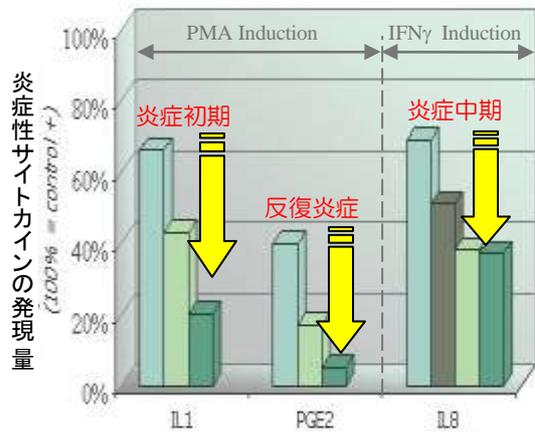
ヘテロサイドは、手付かずの自然に包まれたマダガスカルの天然自生のツボクサの葉を、一枚一枚丁寧に「手摘み」で集め、現地で厳しい品質検査を受け、合格したもののみを南フランスのバイエルの GMP 工場にて高純度精製したパウダー状のエキスであり、現地では医薬品用に用いられているものと同等の品質となっています。



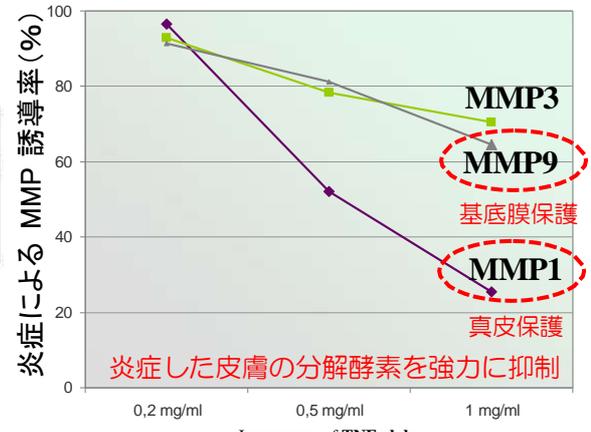
センテラアジアチカ(ツボクサ)には、主に4つの機能性成分があり、特に皮膚ダメージ後の初期反応である「**炎症**」と炎症から誘導される「**表皮角化不全**」に強い作用をもつ 2 成分が**アジアチコシド**(表示名称: **アジアチコシド**)、**マデカツソシド**(表示名称: **マデカツソシド**)といい、「配糖体成分(ヘテロサイド)」に分類される有効成分です。

その点で、**センテラ**の活性成分の濃縮エキスである**ヘテロサイド**は、紫外線などのストレスや加齢により乱れた皮膚の代謝を分子レベルで調整し、正常化することで、皮膚を健全な状態へ若返らせる効果が期待できます。

【効果・効能】

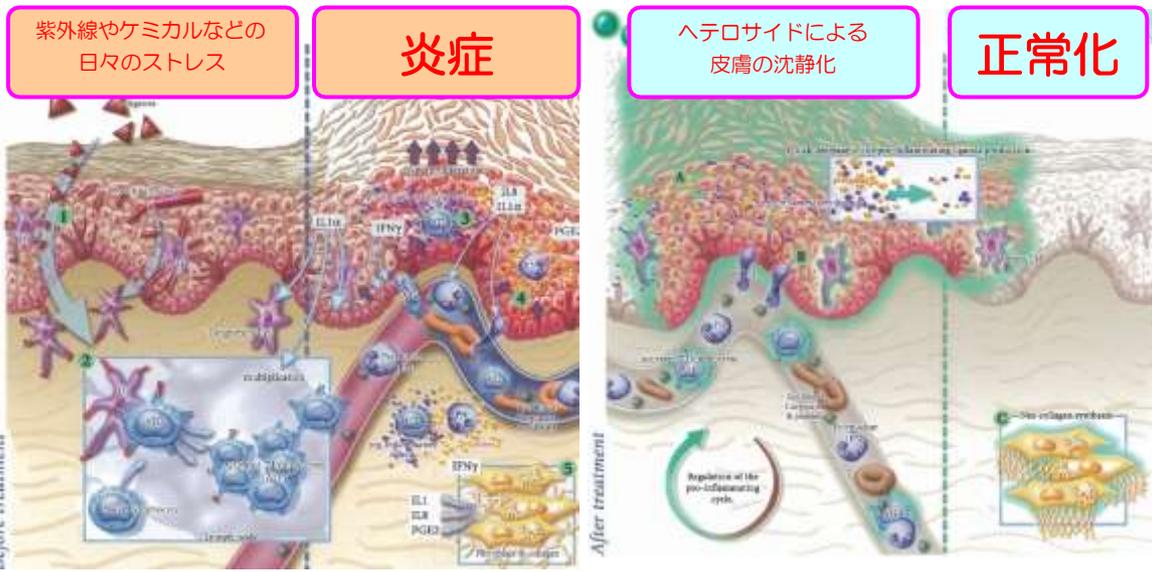


炎症を誘導するシグナルを多角的に制御



炎症から誘導されるダメージを多角的に抑制

これにより、紫外線やストレスにより誘導される表皮での炎症(IL1、PGE2)と真皮への影響(IL8、MMP)を多角的に抑えることが示されました。つまり、**ヘテロサイドは炎症により引き起こされる表皮、真皮のトラブルを未然に防ぐ効果**が期待できます。



【商品情報】

商品名：Heterosides of C.A.(ヘテロサイド)
 表示名称：ツボクサ葉エキス
 医薬部外品表示名称：お問い合わせください
 推奨配合量：0.1%–0.5%
 製造元：Seppic SAS

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしているものであり、効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。